

寺山 修史 NPO法人リハビリテーション推進機構CRASEED

この度リハ専門医の末席に加えて頂くこととなりました。思い返しますとリハの重要性に初めて気がついたのは総合内科医として地域の一般病院に勤務した時からではないかと思えます。訪問診療、保険福祉事業に関わる中で地域リハの実情を目の当たりにするとともに、お年寄りたちが訪問リハや通院リハで健康を維持し在宅での生活を継続することの重要性を実感いたしました。さらに地域医療に生かせるリハについて模索していたところ、平成16年にCRASEEDのリハビリ育成プロジェクトに出会い、翌年よりその一員となりリハ病院、大学病院、重症心身障害児施設等で経験を積ませていただいております。リハ専門医としての私に何ができるのかを考えますと、「リハ医は指揮者である」とプロジェクトリーダーである道免教授に言われた言葉が思い出されます。専門医となった今だからこそ、指揮者一人では演奏はできないのだということを肝に銘じるとともに、指揮者として演奏家(=セラピストだけでなく患者や利用者に関わるすべての職種)たちの個性を最大限に引き出し、観客(=患者、家族、地域住民の皆様)を感動させる演奏を常に心がけたいと思っています。現在は病院勤務の身ですので、まずは目の前の患者様に質の高いリハを提供できるよう努力いたします。

奥田 佳延 多根脳神経リハビリテーション病院

この度、多くの先生方の御指導と御協力を頂き、リハビリテーション専門医の認定を受けることができました。普段、多少の違和感がありますが、「神経内科医」を名乗って仕事をしています。日頃、リハビリテーションと関わる場面も多く、その理解を深めるべきと考えておりました。今回の専門医受験にあたっては、その要件を満たすべく、自分なりに真剣に、研修・勉強をしたつもりです。実際、日常診療において、その時の知識が役に立っていると思うことがしばしばあります。その反面、リハビリテーションの標準レベルを知ったが故に、力不足を自覚することも多くなりました。今後、さらに知識や経験を蓄え、「リハビリテーション専門医」を自称できるように努力したいと思います。

小口 健 白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院 リハビリテーションセンター

専門医と認定して頂き有難うございます。また阿部和夫・甲南女子大学教授はじめご指導頂きました諸先生方有難うございました。白浜はまゆう病院は和歌山県の南部に位置し、風光明媚な所ではありますが、高齢化が深刻な地域でもあるためリハビリの需要は多く、それに対応するべく現在理学療法士25名作業療法士11名言語聴覚士5名と共に頑張っております。当院では救急医療から訪問診療まで幅広く行っており、リハビリも急性期病棟、回復期病棟、医療・介護療養病棟、外来、訪問を対象に行なっております。リハビリはまだまだ勉強していかなければならないことばかりですが、地域に質的にも量的にも十分なリハビリ医療を提供していくことが課題と心得ております。今後とも御指導・御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

畠中 めぐみ 森之宮病院 神経リハビリテーション研究部

私は平成7年卒で、救急医療や循環器内科を経て神経内科を専修してきた中でリハビリテーションは普遍的で大切な素養と考えるようになりました。未だ浅い経験ながら先輩方のおかげで充実した研修を重ねています。脳卒中中心の回復期リハビリテーションでは、急性期や維持期との連携や、コメディカルと共にやりがいある協同作業をめざすことが日々の懸案です。ICDとしては大所帯の多職種への教育や患者権利に配慮した感染制御に留意しています。神経リハビリテーションは臨床疫学、脳科学的検証、神経生理学的手法での回復促進へのアプローチなど、学ぶべきことは無限にあり、臨床業務と同等に重要と考え、引き続き多くの指導を受けながら地道に研鑽を続けて参ります。少しでも前向きに明るく開けるような仕事・役割を担うべく精進しますので今後ともご指導よろしく申し上げます。

相良 亜木子 滋賀県立成人病センター

皆様、はじめまして。この春、リハビリテーション医学会専門医に認定いただき、このようにご挨拶の機会を頂きました。

大学卒業以来を振り返ると、大阪での研修医時代や京都で救急医療を学んでいた頃、そしてリハ医を志して、大阪・兵庫で勉強を始め、さらに滋賀に来て、経験を積んで・・・と、まさに近畿各地でたくさん先生方にご指導頂きました。その中には、この地方会に所属する先生が本当に多く、改めて皆様に感謝申し上げます。

これまで脳卒中・骨関節疾患に携わることが多かったのですが、現在勤務する滋賀県立成人病センターでは、心臓リハやがんのリハビリなどを学ぶ機会もあります。専門医認定を新たなスタートとし、さらに幅広く、様々な疾患の患者さん達にふれ、そこから多くを学びたいと思います。今後とも近畿地方会の先生方はじめ、皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

評議員選挙に向けての調査実施のご報告

日本リハビリテーション医学会 近畿地方会
代表幹事 菅 俊光(関西医科大学附属滝井病院)

謹啓 盛夏の候ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、(社)日本リハビリテーション医学会では、平成22年3月に評議員選挙が実施されることになりました。近畿地方会では、7月4日に開催された地方会総会において選挙による混乱を防ぐために会員の皆様へ事前に立候補のご意志を調査することが了承されました。この場をお借りしてご報告申し上げます。詳細は近畿地方会HPなどのご案内させていただきますが、8月に用紙を会員の皆様へ送付させて頂く予定にしています。会員の皆様にはお手数をお掛け致しますが、ご協力を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

謹白

追伸:日本リハビリテーション学会HP会員登録につきましても、合わせてお願いいたします。